

大学番号：私215

注3

[平成31年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

大阪大谷大学大学院 薬学研究科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大谷学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムカ ジンジカカリ ハラダ ヒトシ  
総務課 人事係 原田 整

電話番号 06-6661-0381（内線253）

（夜間） 06-6661-0382（内線253）

F A X 06-6653-6583

e-mail jinji-h@osaka-ohtani.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

大学院薬学研究科

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	8
4. 既設大学等の状況 . . . . .	9
5. 教員組織の状況 . . . . .	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	20
7. その他全般的事項 . . . . .	21

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人大谷学園

## (2) 大学名

大阪大谷大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒584-8540

大阪府富田林市錦織北3-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	サトウ カズヨシ 左藤 一義 平成21年10月1日		
学長	アサオ ヒロヨシ 浅尾 広良 平成29年12月1日		
研究科長	ナス マサオ 那須 正夫 平成31年4月1日		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
薬学研究科 薬学専攻 （博士課程）  博士（薬学）	薬学関係	年 4	人 3	年次 一人	人 12	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 3 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	2.00 倍	— 倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	7 ( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	7 ( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	7 ( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	6 ( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		2.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	6 [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次			/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
4年次	/				— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	6 [ — ] ( — )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{00}} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{00}} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{00}} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{00}} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

### <薬学研究科>

#### (1) ① 授業科目表

##### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	助手		
基盤科目	情報薬学特論	1前	1			1							兼2
	応用生物情報薬学特論	1前～2前	1			3	2	1					
	医薬品有機化学特論	1後～2後	1			1	2						兼1
	複合生命薬学特論	1後	1			5	2						
	小計 (4科目)	—	4	0	0	8	5	1	0	0	0	0	兼3
専門科目	地域医療薬学特論	1後～2後		2		5	1	1					兼1
	食品機能学特論	1前～2前		1		4							
	チーム医療薬学特論	1後～2後		1		5	1						兼2
	臨床薬物動態学特論	1前～2前		1		2	1	1					
	分子病態生化学特論	1後～2後		2		3	3						兼1
	細胞工学特論	1前～2前		1		2	2						
	細胞解析学特論	1前～2前		1		2	1	1					
小計 (7科目)	—	0	9	0	11	5	2	0	0	0	0	兼4	
演習科目	医療国際比較演習	1前	2			11	3	1					兼1
	薬学総合演習	1後	2			7	4	4					
	特別演習	1～4通	4			11	5	4					兼1
	小計 (3科目)	—	8	0	0	14	6	5	0	0	0	0	
特別研究科目	特別研究	1～4通	16			11	3	1					0
	小計 (1科目)	—	16	0	0	11	3	1	0	0	0	0	
合計 (15科目)			—	28	9	0	15	7	5	0	0	0	兼7
卒業要件及び履修方法													
本研究科に在籍し、かつ、基盤科目4単位、専門科目4単位以上、演習科目8単位及び、特別研究科目16単位、合計32単位以上を修得し、学位審査に合格した者。													

##### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	助手		
基盤科目	情報薬学特論	1前	1			1							兼2
	応用生物情報薬学特論	1前～2前	1			3	2	1					
	医薬品有機化学特論	1後～2後	1			1	2						兼1
	複合生命薬学特論	1後	1			5	2						
	小計 (4科目)	—	4	0	0	8	5	1	0	0	0	0	兼3
専門科目	地域医療薬学特論	1後～2後		2		5	1	1					兼1
	食品機能学特論	1前～2前		1		4							
	チーム医療薬学特論	1後～2後		1		5	1						兼2
	臨床薬物動態学特論	1前～2前		1		2	1	1					
	分子病態生化学特論	1後～2後		2		3	3						兼1
	細胞工学特論	1前～2前		1		2	2						
	細胞解析学特論	1前～2前		1		2	1	1					
小計 (7科目)	—	0	9	0	11	5	2	0	0	0	0	兼4	
演習科目	医療国際比較演習	1前	2			11	3	1					兼1
	薬学総合演習	1後	2			7	4	4					
	特別演習	1～4通	4			11	5	4					兼1
	小計 (3科目)	—	8	0	0	14	6	5	0	0	0	0	
特別研究科目	特別研究	1～4通	16			11	3	1					0
	小計 (1科目)	—	16	0	0	11	3	1	0	0	0	0	
合計 (15科目)			—	28	9	0	15	7	5	0	0	0	兼7
卒業要件及び履修方法													
本研究科に在籍し、かつ、基盤科目4単位、専門科目4単位以上、演習科目8単位及び、特別研究科目16単位、合計32単位以上を修得し、学位審査に合格した者。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

特になし
------

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度 (平成29年度開設であれば平成28年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	7 科目	科目	15 科目	8 科目 [ 0 ]	7 科目 [ 0 ]	科目 [ 0 ]	15 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	64,906.18	0㎡	0㎡	64,906.18㎡				
	運動場用地	12,706.73	0㎡	0㎡	12,706.73㎡				
	小 計	77,612.91	0㎡	0㎡	77,612.91㎡				
	そ の 他	5,194.09	0㎡	0㎡	5,194.09㎡				
	合 計	82,807.00	0㎡	0㎡	82,807.00㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	46,291.87㎡ ( 46,291.87㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	46,291.87㎡ ( 46,291.87㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	53 52 室	30 室	67 64 室	9 室 (補助職員 0 人)	2 室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体			
	薬学研究科 薬学専攻			27 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	図書・設備については、薬学部と共用。 大学全体での共用分を含む。 452,407 [62,952] 図書447,669 [57,866]冊 3,566 学術雑誌3,560 [173]誌 電子ジャーナル 8,701 [7,447] 9,698 [7,444]点 視聴覚資料 11,391 11,194点		
		[うち外国書]	[うち外国書]					電子ジャーナル	点
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	薬学研究科 薬学専攻	14,483 [2,937] (12,849 [2,760]) (-13,331 [-2,777])	102 [68] (102 [68])	8,698 [7,444] (8,701 [7,447]) (-8,698 [-7,444])	575 (699) (-555)	4,748 ( 4,684 )		121 5 ( 121)	
計	14,483 [2,937] (12,849 [2,760]) (-13,331 [-2,777])	102 [68] (102 [68])	8,698 [7,444] (8,701 [7,447]) (-8,698 [-7,444])	575 (699) (-555)	4,748 ( 4,684 )	121 5 ( 121)	薬学部共用の為、 薬学部の数字を記載 設備の区分を見直のため (元)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,780.00㎡		378	450,000					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	5333.42㎡		該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(教員1人あたり研究費等) 研究図書補助手当(18万円)含む (共同研究費等) 薬学部共同研究費 (図書購入費) 薬学部共用、電子ジャーナル・データ ベース・その他経費含む (設備購入費) 薬学部共用 左記とは別に、講座に教授1,000千円 講師以上750千円の割合で研究経費を 配分し、研究活動を支援している。
		教員1人当り研究費等	380千円	380千円	図書購入費	49,988千円	50,238千円	50,238千円	
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	24,450千円	46,830千円	7,200千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	900千円	700千円	700千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		法人からの繰入収入をもって、充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	大阪大谷大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
文学部						1.15				
日本語日本文学科	4	50	—	200	学士 (日本語日本文学)	1.18	—	昭和41年度		
歴史文化学科	4	50	—	200	学士 (歴史文化学)	1.13	—	平成12年度		
教育学部						1.06				
教育学科	4	230	—	920	学士 (教育学)	1.06	—	平成16年度		
人間社会学部						1.11				
人間社会学科	4	80	—	320	学士 (人間社会学)	1.09	—	平成17年度		
スポーツ健康学科	4	100	—	400	学士 (スポーツ健康学)	1.13	—	平成24年度		
薬学部						1.02				
薬学科	6	140	—	840	学士 (薬学)	1.02	—	平成18年度		大阪府富田林市錦 織北三丁目11番1号
文学研究科										
国語学国文学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (国語学) (国文学)	0.00	—	昭和50年度		
国語学国文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	—	昭和53年度		
歴史文化学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士 (歴史文化学)	0.25	—	平成16年度		
歴史文化学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	0.66	—	平成16年度		
薬学研究科										
薬学専攻 (博士課程)	4	3	—	12	博士 (薬学)	2.00	—	令和元年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <薬学研究科 薬学専攻>

#### (1) -① 担当教員表

##### 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科長)	ナ マサ 那須 正夫 (68) <平成31年4月> (高) 医学博士
		情報薬学特論※ 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	イノ ヲヤ 伊藤 卓也 (45) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※
専	教授	コシ ヒロ 小西 廣己 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	カザキ フミト 坂崎 文俊 (45) <平成31年4月> 博士(薬学)
		複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】 食品機能学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	タニ カツ 谷 佳津治 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 食品機能学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究

##### 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科長)	ナ マサ 那須 正夫 (68) <平成31年4月> (高) 医学博士
		情報薬学特論※ 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	イノ ヲヤ 伊藤 卓也 (45) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※
専	教授	コシ ヒロ 小西 廣己 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	カザキ フミト 坂崎 文俊 (45) <平成31年4月> 博士(薬学)
		複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】 食品機能学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	タニ カツ 谷 佳津治 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 食品機能学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	トミ コウジ 富田 晃司 (57) <平成31年4月> 博士(医学)
		複合生命薬学特論※ 食品機能学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	トウ ミチ 戸村 道夫 (54) <平成31年4月> 博士(医学)
		複合生命薬学特論※ 食品機能学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ナカダ ユウイチロウ 中田 雄一郎 (60) <平成31年4月> 薬学博士
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ チーム医療薬学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	教授	ハシヅメ ケイリ 橋爪 孝典 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物動態学特論※【隔年】
専	教授	マエザキ ナオシ 前崎 直容 (58) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	教授	ミズグチ ヒロキ 水口 博之 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	トミ コウジ 富田 晃司 (57) <平成31年4月> 博士(医学)
		複合生命薬学特論※ 食品機能学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	トウ ミチ 戸村 道夫 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		複合生命薬学特論※ 食品機能学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ナカダ ユウイチロウ 中田 雄一郎 (60) <平成31年4月> 薬学博士
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ チーム医療薬学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	教授	ハシヅメ ケイリ 橋爪 孝典 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		臨床薬物動態学特論※【隔年】
専	教授	マエザキ ナオシ 前崎 直容 (58) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	教授	ミズグチ ヒロキ 水口 博之 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミヨトウ ミチアキ 名徳 倫明 (58) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ムラカミ マサヒロ 村上 正裕 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)
		チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	モリモト ショウタロウ 森本 正太郎 (53) <平成31年4月> 博士(理学)
		医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ヨネダ コウゾウ 米田 耕造 (61) <平成31年4月> 医学博士
		地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	イケヅリ マサヒロ 池尻 昌宏 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	准教授	イケダ ケンジ 池田 賢二 (50) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ チーム医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミヨトウ ミチアキ 名徳 倫明 (58) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ムラカミ マサヒロ 村上 正裕 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)
		チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	モリモト ショウタロウ 森本 正太郎 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
		医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	教授	ヨネダ コウゾウ 米田 耕造 (61) <平成31年4月> 医学博士
		地域医療薬学特論※【隔年】 チーム医療薬学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	イケヅリ マサヒロ 池尻 昌宏 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】 薬学総合演習※
専	准教授	イケダ ケンジ 池田 賢二 (50) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 複合生命薬学特論※ チーム医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 楠本 豊 (57) <平成31年4月> 博士(歯学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 薬学総合演習※ 特別演習
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 見坂 武彦 (47) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 田中 高志 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 西中 徹 (53) <平成31年4月> 博士(薬学)
		複合生命薬学特論※ 分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 広川 美視 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】
専	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 宇田川 周子 (55) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※ 特別演習
専	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 竹橋 正則 (52) <平成31年4月> 博士(医学)
		薬学総合演習※

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 楠本 豊 (57) <平成31年4月> 博士(歯学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 分子病態生化学特論※【隔年】 薬学総合演習※ 特別演習
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 見坂 武彦 (47) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 田中 高志 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 西中 徹 (53) <平成31年4月> 博士(薬学)
		複合生命薬学特論※ 分子病態生化学特論※【隔年】 細胞工学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	准教授	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 広川 美視 (56) <平成31年4月> 博士(薬学)
		医薬品有機化学特論※【隔年】
専	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 宇田川 周子 (55) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※ 特別演習
専	講師	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 竹橋 正則 (52) <平成31年4月> 博士(医学)
		薬学総合演習※

## 【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	カガイ カキト 長井 克仁 (43) <平成31年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	講師	ヤマガタ マサヨ 山形 雅代 (48) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※ 特別演習
専	講師	ヤマダ ケイタ 山田 佳太 (36) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 特別演習
兼担	教授	コヤマ トシコ 小山 敏子 (59) <平成31年4月> 博士(外国語教育学)
		医療国際比較演習※
兼担	准教授	ナカムラ マサシ 中村 雅司 (52) <平成31年4月> 工学修士
		情報薬学特論※
兼任	講師	ウエダ カキト 上田 一仁 (58) <平成31年4月> 博士(保健学)
		複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】
兼任	講師	カタカ ヨコ 片岡 葉子 (60) <平成31年4月> 医学士
		分子病態生化学特論※【隔年】

## 【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	カガイ カキト 長井 克仁 (43) <平成31年4月> 博士(薬学)
		地域医療薬学特論※【隔年】 臨床薬物動態学特論※【隔年】 医療国際比較演習※ 薬学総合演習※ 特別演習 特別研究
専	講師	ヤマガタ マサヨ 山形 雅代 (48) <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬学総合演習※ 特別演習
専	講師	ヤマダ ケイタ 山田 佳太 (36) <平成31年4月> 博士(薬学)
		応用生物情報薬学特論※【隔年】 細胞解析学特論※【隔年】 特別演習
兼担	教授	コヤマ トシコ 小山 敏子 (59) <平成31年4月> 博士(外国語教育学)
		医療国際比較演習※
兼担	准教授	ナカムラ マサシ 中村 雅司 (52) <平成31年4月> 工学修士
		情報薬学特論※
兼任	講師	ウエダ カキト 上田 一仁 (58) <平成31年4月> 博士(保健学)
		複合生命薬学特論※ 地域医療薬学特論※【隔年】
兼任	講師	カタカ ヨコ 片岡 葉子 (60) <平成31年4月> 医学士
		分子病態生化学特論※【隔年】



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	サライ ヒデトシ 櫻井 英俊 (45) <平成31年4月> 博士(医学)
		細胞工学特論※【隔年】
兼任	講師	タギ タツヤ 高木 達也 (62) <平成31年4月> 薬学博士
		情報薬学特論※
兼任	講師	ヤマザキ カズヒロ 山崎 和裕 (51) <平成31年4月> 医学博士
		分子病態生化学特論※【隔年】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	サライ ヒデトシ 櫻井 英俊 (45) <平成31年4月> 博士(医学)
		細胞工学特論※【隔年】
兼任	講師	タギ タツヤ 高木 達也 (62) <平成31年4月> 薬学博士
		情報薬学特論※
兼任	講師	ヤマザキ カズヒロ 山崎 和裕 (51) <平成31年4月> 医学博士
		分子病態生化学特論※【隔年】

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
15	7	5	0	27	15	7	5	0	27
(15)	(7)	(5)	(0)	(27)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
15	0	12			15	0	12		
(15)	(0)	(12)			(15)	(0)	(12)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
15	7	5	0	27	15	7	5	0	27
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
15	0	12			15	0	12		
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{27}{27} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{27} = \boxed{3.7} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <薬学研究科 薬学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

本学では、本学の教育理念および研究科、学部等の教育目標を踏まえた授業内容および方法の改善を図るための組織的な研修や研究を積極的・継続的に取組む組織としてFD部会を設置している。このFD部会は学部・研究科に関わる自己点検評価を行うために必要な事項を統括する大阪大谷大学自己点検・評価委員会の下部組織であり、「大阪大谷大学自己点検・評価に関する規程」に関する規程第4条第6項の規定に基づき、大阪大谷大学の全学的なFDを推進する組織として位置づけられている。

FD部会では、授業改善のための基本方針の策定、研修会及び講習会の開催、教員の教授活動相互研鑽、学生による授業評価の実施、学生の勉学能力の育成、学部間共通カリキュラムの開発支援等について検討し、部会長の教務部長を中心にFD活動を行っている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD部会は教務部長を部会長とし、副学長、教務部長補佐、各研究科長、各学部長、各学科から選出された教員（各1人）、事務局長を委員として、毎月第3水曜日に開催している。

FD部会で審議、検討した承認事項については、自己点検・評価委員会に報告した後、教授会で周知する体制をとっている。

###### c 委員会の審議事項等

FD部会（FD部会要項 第3条）

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会および講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業評価の実施に関する事項
- (5) 学生の勉学能力の育成に関する事項
- (6) 学部間共通カリキュラムの開発支援に関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・ 学生による授業評価と教員による授業評価
- ・ FD報告書発行（平成28年度・29年度の取り組み）
- ・ アセスメントポリシーの改変
- ・ 成績評価ガイドライン作成
- ・ FD講演会の開催
- ・ 学生教育改善会議の開催
- ・ 学長表彰

## b 実施方法

- ・ 教員による授業評価と学生による授業評価  
評価体制については、教員と学生の双方向からの評価（「教員による授業評価」及び「学生による授業評価」）をそれぞれ実施している。  
「教員による授業評価」は、各教員の担当科目の授業をDVDに記録し、そのDVDを各教員が自ら分析し評価することを通して行っている。教員の授業評価報告書は5段階評価と自由記述の2段構えで作成している。前者は10の設問について、DVD確認前の自己評価と確認後の自己評価を5段階の数字で記入する。後者は、課題・改善工夫等5つの項目について記述する。  
「学生による授業評価」は平成20年度からその実施対象及び回数を広げ、原則として専任教員及び非常勤教員の担当する全授業について、前期と後期の2回実施する体制をとっている。薬学部では学生は18項目についての評価をマークシート方式で記載し、自由記述欄も設けている。学生による授業評価の結果に対して、教員はその評価結果の分析、改善計画を記入した「評価考察シート」を作成し、授業改善の方策を考察する体制をとっている。なお、「学生による授業評価」のアンケート結果については、平成24年度以降より大学のWebポータルサイト「Active Academy」上で閲覧を可能にしている。文学研究科は履修生数が少人数であるため、記述式の授業評価アンケートのデータを院生に配布し、教務課がとりまとめ、大学院教員に結果を提示し、改善を求めている。
- ・ FD報告書発行（平成28年度・29年度の取り組み）  
平成28年度と29年度のFD活動（各授業評価の結果や研修会及び講習会の記録等）を報告書としてまとめ、9月に刊行した。専任教員全員及び学園内の各部署に配布し、また文部科学省高等教育局、日本高等教育評価機構等関係機関に送付した。
- ・ アセスメントポリシーの改変  
以前から制定していたアセスメントポリシーには検証レベルやその具体的な検証方法などが提示できていなかったため、改変を行った。
- ・ 成績評価ガイドラインの作成  
成績評価の厳格化と教育の質の保証に向けて、成績評価の基準や成績評価の検証・公表の方針を示した成績評価に関わるガイドラインを制定した。
- ・ FD講演会の開催  
授業改革や学修ポートフォリオの利用、シラバス作成や成績評価に関するFD講演会を実施した。
- ・ 学生教育改善会議の開催  
本学のカリキュラムや授業方法、成績評価等について、教育改善に向けて学生と意見交換を行う会議を開催した。その後、学生からの指摘事項や本学の改善点、取組等について、会議の内容を報告書にまとめ、WEBに掲載した。
- ・ 学長表彰  
教育力の一層の充実を図るため、教育方法や教育内容の工夫・改善に努め、顕著な業績をあげた教員を表彰した。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### 〈平成30年度実績〉

1. 学修ポートフォリオシステムによる教育・学習支援と学生指導についてFD講演会を開催  
平成30年7月25日に開催 ビデオ視聴も含め、専任教員117名が出席
2. シラバス作成に関するFD講演会を開催  
専任教員 平成30年12月12日 ビデオ視聴も含め、専任教員129名が出席  
非常勤講師 平成30年12月15日 非常勤講師47名が出席
3. 成績評価に関するFD講演会を開催  
平成31年3月6日に開催 ビデオ視聴も含め、専任教員121名が出席
4. 学生教育改善会議の開催  
平成30年9月18日に開催 学生8名と学長、研究科長、学部長、教務部長、学長室長、学長補佐、大学事務局長計18名による会議を開催した。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. FD講演会を通して教育改善や新たな教育実践の取組に繋がる情報を発信し、学内での情報共有を図ると共に改革の促進に努めた。
2. 授業評価の分析をもとに、教育内容の課題の明確化、各教員の授業改善の促進
3. 厳格な成績評価の課題の明確化と多様な評価方法の検討と授業改善の促進
4. 高等教育を取り巻く動向や課題についての情報発信と課題解決に向けての方策検討の促進
5. 教員に必要な教育力の向上に向けての支援促進

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

- ・ 毎年度前期・後期の終盤に実施（授業アンケート）大学院文学研究科は年度末

### b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 各教員には個別集計結果を返却し、教員は考察シート（個人分析と改善点を記載）を作成する。
- ・ 学生には大学全体・学部学科集計はホームページで、科目別集計結果は学内専用ページで公開している。ただし、大学院文学研究科は履修生も少ないことから、学生には各教員よりフィードバックを行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は6年制薬学部を基礎とし、近年の生命科学、化学、情報学、医療等の急速な進歩を踏まえて、多様な課題に高度かつ先進的な専門知識及び思考力をもって取り組むとともに、新たな道を切り拓く先導的人材を育成することにより、薬学、さらには広く社会に寄与することを目的としている。

本年度としては、設置の趣旨・目的を遂行すべく計画どおり実施しており、入学者についても定員を上回る6名（一般入試：2名、社会人入試：4名）を確保することができた。  
今後も継続して入学者を確保するとともに設置計画の着実な履行に努める。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・「平成31年度 自己点検評価書」を令和2年3月末に公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（令和2年3月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 7月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。